

KSKQ どかどか No.280 にゆーす

ぽぽんがぽん News



笑顔あふれ つながりあえる社会へ
～ひとりひとりが自分らしく生きてゆけるために～

第38回つながいまつり 開催！！

2019年10月20日(日) 10時～15時

茨木市中央公園南グラウンド (JR茨木駅、阪急茨木市駅徒歩10分)

去年は、天候にも恵まれて、多くの方につながりまつりにご来場いただきました。ステージでは、子どもたちの太鼓やダンス、フラダンスなどの演目が予定されています。毎年恒例のふわふわもやってきます。また、例年まつり開始までに完売してしまう“つながりタオル”を今年も販売いたします。みなさまのご来場お待ちしております！ ※雨天時は、中止とさせていただきます。

(つながりまつり実行委員長 六條友聡)



買って！支えて！つながって！

つながりまつり サポータータオル

市内作業所の自主製品付



『つながりまつり』を支えて下さい！

今回のオリジナルタオルは、利用者の方にぽぽんがぽんキャラクターをいただいたものをデザインにしました。また、障害者の作業所で作成している自主製品を記念品として同封しています。タオルの売り上げの一部は、「つながりまつり」の運営資金に、一部は障害者の作業所の工賃へ活用させていただきます。ぜひ、タオルをご購入いただき、「つながりまつり」と障害者の作業所の活動を支えるサポーターとなってください！

つながりまつり当日までに売り切れとなる場合もございます。事前にお問合せの上、お求め下さい。

販売元：つながりまつり実行委員会 (社会福祉法人ぽぽんがぽん内)

販売先：茨木市駅前 1-4-14-3F

1,000円(税込・寄付金)

タオルサイズ 約 34cm×84cm
フェイスタオルタイプ

画像は去年の様子です。この事業は、茨木市障害者社会参加促進事業補助制度による補助を受けて実施いたします

目次

1頁 つながりまつり開催のご案内

2～3頁 バリバラに出演しました！

4頁 のむすけバスに乗る

5頁 各場(事業)から・スタッフ紹介

6頁 つながりの会ぽぽんがぽん後援会より

7頁 寄付金等のお礼

8頁 編集後記

付録 つながりまつり開催案内

「バリバラ」出演 ~ それでいい!合格!

みなさま、既にご覧いただいたかと思いますが・・・

NHK みんなのためのバリアフリー・バラエティ「バリバラ」に出演いたしました!

『相模原殺傷事件から3年・まちで暮らす』というテーマで、実際に地域でひとり暮らしをするOsさんの自立生活とヘルパーの支援の様子が紹介されました。



放送の1ヶ月ほど前から撮影が始まり、インタビュー、スタジオ収録と、初めての体験に戸惑うことばかり。撮影中、TVカメラの回る中、緊張する私とは違い、カメラを覗き込み興味津々のOsさん。

スタジオ収録では、オシャレな服に着替えて、大きな鏡の前でメイクさんにお化粧をしてもらいOsさんもニコニコ笑顔!!

いよいよスタジオに通され、胸にピンマイクをつけて、いつもTVの中で観ているバリバラレギュラーさんとのご対面に緊張のボルテージもMAX!!

しかし、さすがのOsさん!

収録冒頭から「ありがとうございます!」と言って、司会の山本シュウさんから「まだ終わってない、終わってない」とツッコミを入れられたり、「誘導(ゆうどう)」の言葉に反応して「ゆうどうふ!(湯豆腐)」と言って、みんなを爆笑させてくれる余裕っぷり!?

また、私が支援について話を振られ喋ろうとすると、「それでいい!それでいい!合格!」と、(もうそれ以上、なんも話さんでもええ!)といった様子で割り込んで?来られる場面もあり、Osさんのオモシロさ、魅力ぜんかいでした。

今回、相模原殺傷事件から3年経って、「障害のある人たちは、これからの生活をどうするのか?」ということが問われていましたが、私は「施設だけでなく、Osさんのように『まちで暮らす』こともできるということ、もっと、重度知的障がいといわれる人たちのことを知ってほしい、もっと、当たり前前に生きていける社会であってほしい」と願っています。

「バリバラ」放送後、Osさんと歩いていると「TV見たよ～」と声をかけられるようになりました。

彼女の自立生活や私たちの取り組みが、こんな風にメディアで取り上げられるまでに20年という年月がかかりましたが、少しずつ社会が良い方向に変わりつつあると信じたいと思います。



バリバラ
 たのしかった
 おくはらさえ子
 ありがとう

(藤原刀季子)

先日バリバラの収録に参加してきました。映画『道草』が上映されたことがきっかけで、取材が入りOsさんの生活風景の撮影や、支援者会議の撮影、スタジオ収録などをするようになりました。生活風景の撮影は、長時間密着での撮影だったため、Osさん大丈夫かなと心配していたのですが、いつも通りのOsさんの生活風景を撮影してもらうことができ、安心しました。

スタジオ収録では、G20の影響でNHKにいくまでの道中で検問が入るかもしれないと聞いていたので、Osさんはリュックの中をみせてくれるのだろうか・・・？とヒヤヒヤしていましたが、検問で止められることはなく、スムーズにNHKに到着することができました。着替え、メイクなどを済まし、スタジオ収録が始まり、胸に手を当てられることもあり大丈夫かな？と思う瞬間もありましたが、徐々に周りの話に合わせてリピートされるなど、その場に馴染み、みんなを笑わせてくれる場面もありました。

わたしにとっても初めての経験ばかりで、戸惑うこともたくさんありましたが、とてもよい経験になりました。ありがとうございました。(水上有加)



本来なら、ここで太田吾郎さんのコメントなのですが、編集後記に感想を書かれているということで、代わりに山本真輝が書かせていただきます。

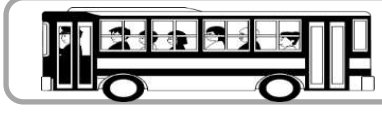
ぽぽんがぽんで自立生活(ひとりぐらし)の支援を始めたのは約20年前。当時、知的障害者は重度訪問介護を利用できません。未知ともいえる中でヘルパーを使った自立生活の支援が始まり、家族・支援者が市役所との話し合いを何度も繰り返し続けてきたと聞いています。

施設やグループホームの存在を必ずしも否定するものではありませんが、地域生活の可能性を検討する中で、本人に複数の選択肢が上げられ、本人が主体としての選択を可能にすることが大切ではないでしょうか。また、家族による介護が限界になったときに、選択肢がグループホームか施設入所しかない

という状況は改められなければなりません。(詳しくは「知的障害者の自立生活」で調べてみてください)

今回のバリバラや映画『道草』を通して、知的障害者の自立生活を多くの市民に知ってもらい、理解と協力が広がることを期待しています。(来年は24時間テレビでとりあげてくれたらいいな)

(山本真輝)



のむすけバスに乗る No. 10

IDF茨木障害フォーラム事務局長 六條友聡さん43才

私と六條さんとは、高校在学中の出会いに始まります。茨木市内にある府立春日丘高校定時制で六條さんは、僕の1年後輩、部活動の「障害者問題研究会」とともに活動をしてきました。彼は、茨木市の広報誌「広報いばらき2019年5月号」に取り上げられ、友人としてとても嬉しく思い特集しました。



野村：六條さんの自己紹介をお願いします。

六條：私は、身体の筋肉が萎縮し筋力が低下する先天性ミオパチーという病気で、電動車いすに乗って生活しています。普段は、社会福祉法人ぼぼんがぼんの相談支援部門で働いています。市民活動として、地域・校区で「障害児・者」の生活と教育を保障しよう茨木市民の会 会長、茨木の主要な障がい者団体のネットワーク IDF茨木障害者フォーラム 事務局 長を中心に活動しています。このほかにも、企業の研修や行政の施策委員などを通じて、すべての人を排除しない暮らしやすい社会につながる活動をしています。

野村：2018年に施行した、茨木市「障害のある人もない人も共に生きるまちづくり条例」のこと教えてください。

六條：「障害のある人もない人も共に生きるまちづくり条例」が制定されるずいぶん前から、学習会を何度も開催して条例の必要性を公開して学ん

できました。茨木市の障害者施策推進分科会にも参画し、専門部会や障がい者団体へのヒアリングを行い、精一杯取り組みました。私たちの意見が反映された、条例が制定されたときは本当にうれしかったです。

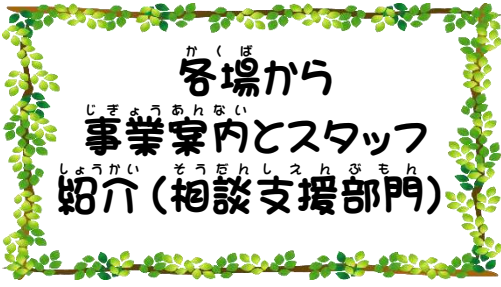
条例で、民間事業者の合理的配慮を義務化したことは画期的です。一例ですが、歩行に障害がある人に、段差解消やトイレの改修、杖や歩行器の設置・視覚障害者に必要な点字のメニュー・会話が不自由な方に必要な筆談器・文字の理解が難しい発達障害や知的障害の方に必要なイラストの案内書など、希望する茨木市内の事業者であれば、小規模でもきめ細やかな改善のために、茨木市からの補助が受けられます。

この条例は、障がいがある人の教育・労働・生活・スポーツ・交通・差別・虐待・街づくりと多岐にわたり、補助事業のように、これから具体的な事業化がまだまだ必要です。この条例を生かしていくために引き続き働きかけていきます。

野村：六條さんの活動していくエネルギーを教えてください。

六條：4才から15才まで週末を除いて入所施設で暮らした経験です。施設での生活は入居者も職員も必死で余裕がなかった。小さなことでみんなイライラして、いじわるな人も多くいじめもあった。入所施設が必要なのは、家庭や地域で介護や援助が十分に受けられないことが主な原因で、たくさんの選択肢から施設入所を選んだわけではない。施設での楽しい思い出もあるが、当時はとても苦痛な時間だった。中学までは特別支援学校だったが一般の高校がとても楽しく感じた。だから卒業後に一人暮らしに挑戦できたのだと思う。僕の同級生がまだ入所施設で暮らしている。茨木市内で障がい者に対する虐待事件が新たに発生している。30年前入所施設の生活しかなかった経験を思い返して、障がいがある身体にあっても人間らしい生活がみんな出来ているのかと問う。だから「まだまだ自分が頑張らないと」いつも思う。条例制定はスタートライン。自分の体力と向き合いながら頑張りたいと思っている。

六條さんのモデルは、亡くなったお母さんと一緒に活動してきた太田卓さんだそうです。身体に気をつけてますます活躍に期待しています。
(野村孝治)



みなさま、相談支援部門の山本大雅です。相談支援部門には山本が二人いるので、“大雅(たいが)の方”と覚えてください。社会福祉法人ぼぼんがぼん(前身のNPO法人の頃も含む)に来て、7年が経ちました。2012年4月から茨木市障害者相談支援事業の委託専従相談員として働いています。相談支援が、どんな仕事かご存じですか？

茨木市によると「様々な相談に応じ、必要な情報の提供や助言、福祉サービスの利用調整等、地域での生活における総合的な相談支援を行います」とあります。平たく言えば、“いったん、なんでも相談できる場所”とご理解いただけたら良いかと思えます。

日々、様々な方に出会い、今の社会の生きにくさや理不尽さに悲しい気持ちになることもありますが、当事者や家族の方と一緒に考え、一緒に迷いながら、明日を自指していけたらと思ひ、相談支援に取り組んでいます。

お仕事と同じくらいの熱量で取り組んでいる、“よさこい”について話しますっ!“よさこい”は、全国各地でお祭りが開催されており、お自にしたことがある方も少なくないかもしれません。元々は毎年8月に高知県で行われる「よさこい祭り」が発祥で、戦後復興の願いのもと、1954年に始まった自由なお祭りです。



私は、大阪のよさこいチームに所属して、毎年「よさこい祭り」に参加しています！暑い中、一日中踊り続けるので、体力・気力

ともに大変ですが、一度味わってしまうと辞められない魅力が“よさこい”にはあるんです！高知でしか味わえない感動があるので、興味ある方は、8月の高知にいらしてください！

毎週水曜と金曜日はよさこいの練習に行っていますので、残業は出来る限りしたくありません！また、お祭りシーズン(7月~11月)の週末は、ほぼ毎週のように全国各地のお祭りに参加していますので、月曜日の朝はHPが低めですがご了承ください！

これからもプライベートを充実させ、心のエネルギーを満タンにして、お仕事も一所懸命、熱量を持って取り組んでいきたいと思ひます！

(山本大雅)

『しょうがい福祉フェスタ』開催のお知らせ

日程：2019年11月11日(月)

時間：10時~15時30分

場所：ローズWAM (ワムホール、501号室・502号室)

内容：午前 映画「道草」の上映

午後 トークセッション 「重度知的障害者が地域で暮らすために」

コーディネーター：三田優子氏(大阪府立大学准教授)

岡部耕典氏(早稲田大学教授)

末永 弘氏(NPO法人自立生活センターグッドライフ)

田井英一郎氏(社会福祉法人ぼぼんがぼん)

しゃかいふくしほうじん
社会福祉法人ぽぽんがぽん
こうえんかい
かい
「つなかりの会 ぽぽんがぽん」

7月21日総会が開かれ、議案も全て承認されました。



一年前の6月18日、北部地震発生により被害を受けた「放課後等デイサービス Plus」の新しい場所確保が依然として難しく、ぽぽんがぽん事業所内での実施に追われています。

又、被害を受けられた当事者の方々の避難所での対応や生活の再建への大変さ・・・等、まだまだ災害時における課題は尽きません。諸々の課題に向けて、茨木しょう会とも連携して取り組んでいきたいと思えます。

総会后「社会福祉法人ぽぽんがぽん」の、この一年の事業活動を報告させて頂きました。プロジェクターを使い、各事業について、又日頃の様子など水野さんより説明をして頂きました。今回初めての試みで、十分な報告ではなかったかも知れませんが、ご参加いただいた皆さまに事業内容について伝えられたのではと思っています。



(村上和子)



ご寄付ご協力ありがとうございます！



ご寄付等のお礼 2019年6月1日～2019年8月26日まで（順不同）

※郵便振替の都合上、お名前が反映できていない場合は次号にて掲載させていただきます。

● 社会福祉法人ぽぽんがぽんへのご寄付ご協力

ありがとうございました。

鎮山様 大島様 善塔様 長島様 岸本様
匿名の皆様

ご寄付をご希望される方は、申込書が必要となりますので社会福祉法人ぽぽんがぽん（072-623-9202）までご連絡ください。

● つながりの会ぽぽんがぽん（後援会）へのご寄付ご協力、ありがとうございました。

【ご寄付頂いた方々】

内橋様 川口様 高原様 富井様 太田様 匿名の皆様

【募金箱のご協力（回収）】

埴淵様 今村様 大塚様 小野様 シャルドン様 たかだ歯科様 with you様 そぶえ歯科様
ファミリーマート舟木町店様 ファミリーマート並木町店様 大衆酒場次郎長様
餃子の王将阪急茨木駅前店様 ぽぽんがぽん派遣部門様 ぽかぽか・どかどか様 かしの木園様
匿名の皆様

● アルミ缶・バザー用品・牛乳パック提供ありがとうございました。

【バザー用品】谷川様 吉田様 楠田様 鈴木様 作業所へ持参して下さった皆様

匿名の皆様

【アルミ缶】浅野様 花園東和苑自治会様 ハロハロ様 植木様 舟橋様

作業所へ持参して下さった皆様

【牛乳パック】関西よつ葉連絡会淀川産地直送センター様 菜の花障害者相談支援センター様

作業所へ持参して下さった皆様



● 車椅子用ゴムベルトのご提供ありがとうございました。

中嶋様

ご支援、ご寄付、ご提供ありがとうございました。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

アルミ缶・バザー用品は、下記施設でお受け取りさせていただきます。

〒567-0850 大阪府茨木市真砂玉島台 8-20 いばらき自立支援センター「ぽかぽか」 ☎072-635-5762

〒567-0842 大阪府茨木市五十鈴町 7-29 いばらき自立支援センター「どかどか」 ☎072-637-6882

〒567-0031 大阪府茨木市春日 1-15-22 茨木市立障害者就労支援センター「かしの木園」 ☎072-626-5910

〒567-0888 大阪府茨木市駅前 1-4-14-3F 社会福祉法人ぽぽんがぽん ☎072-623-9202

編集後記

今回、O.sさんとヘルパーの藤原さん、水上さん、そしてぼくの4人でNHKバリバラに出演しました。その中で放映はされませんでした。レギュラーの玉木さんが指摘してくれたことは、とても大事なことだと思っています。

「本人抜きでの支援者会議はともすれば本人の悪口大会になる危険性がある。」形だけではなく本人さんの「声」を聴く場、本人さんが参加しやすい場をしっかりとつくりたいと思いました。

ところで、ぼぽんがぼんでは、7月からフェイスブックとツイッターの試験運用を開始しました。たのしい取り組みやイベント情報などのほか、大規模災害時の情報提供に活用したいと考えています。ぼく、太田吾郎が「いいね！」の意味もよくわからないまま、ときどき更新(の指示)をしています。ぜひ一度見てください。(太田吾郎)



バリバラ収録後の楽屋にて



<https://www.facebook.com/popongapon/>

フェイスブック



https://twitter.com/iBa_Pon

ツイッター

【 社会福祉法人ぽぽんがぼん 各場連絡先 】

- 法人本部、ヘルパー派遣、グループホーム窓口、相談支援、移動送迎
〒567-0888 茨木市駅前 1-4-14-3F Fax 共通 072-623-9203
法人本部、グループホーム窓口、移動送迎 Tel 072-623-9202 (9:00~18:00)
ヘルパー派遣 Tel 072-623-9205 (9:00~18:00)
相談支援 Tel 072-623-9210 (9:00~17:00)
- いばらき自立支援センター「ぽかぽか」 (9:00~17:00)
〒567-0850 茨木市真砂玉島台 8-20 Tel 072-635-5762 Fax 072-635-5763
- いばらき自立支援センター「どかどか」 (9:00~17:00)
〒567-0842 茨木市五十鈴町 7-29-1FS Tel 072-637-6882 Fax 072-637-6883
- 茨木市立障害者就労支援センター かしの木園 (8:45~17:15)
〒567-0031 茨木市春日 1-15-22 Tel 072-626-5910 Fax 072-626-5912
- 放課後等デイサービス Plus (10:00~18:00) ※仮設事業場の連絡先です
〒567-0888 茨木市駅前 1-4-14-3F Tel 072-665-5005 Fax 072-623-9203
- 茨木市子ども・若者自立支援センターくろす (10:00~19:00)
〒567-0842 茨木市片桐町 4-7 Tel 080-2467-5566
- ユースプラザ center エント (10:00~19:00)
〒567-0882 大阪府茨木市元町 4-7 ローズ WAM2 階 事務室 Tel 080-1521-4624

編集人：「障害者」の生活をひろげる場「どかどか」 TEL (072) 623-9202 (お問い合わせはこちらまで)

〒567-0888 茨木市駅前1-4-14 エステート茨木駅前3F 社会福祉法人ぽぽんがぼん (法人本部)

発行人：関西障害者定期刊行物協会

〒543-0015 大阪市天王寺区真田山町2-2東興ビル4F

定価：50円